

授業協議会記録

1 研究の視点

- 小集団で発表や助言をし合う場面を設定したことは、生徒が作品の構想を改善させたり、よりよい表現方法を考えたりすることに有効であったか。
- ロイロノートの活用が生徒の主体的な表現活動を促進することに有効であったか。

2 自評

- 小集団活動について
活動内容が多くあり、一つ一つの活動の時間設定が短くなってしまったため、個人で考える時間を十分に確保することができなかった。全体的には、グループ活動を通して、自分たちで考え、高め合おうとする様子が見られた。これからの授業でも、作品を変化させていく過程を大切にしていきたい。
- ロイロノートの活用について
デジタルポートフォリオで振り返りをするにより、自己調整する力を高めることをねらいとした。今後もこの活用を続け、デジタルポートフォリオからも生徒の成長や課題を見取り、指導に生かしていきたい。

3 質疑応答

- 付箋をうまく使い、テーマに合う表現方法について意見を深めていくことができた班がある一方、感想や助言を報告しただけの班もいた。日頃の授業での話し合い活動はどのような様子か。
→過去の相互鑑賞で付箋を使ったこともある。できるだけポジティブな意見を伝えること、話し合いの時間を有効に使うために、意見がよく伝わるようまとめることなどを指導している。今回は時間設定が短かったため、意見を伝え合うだけで終わってしまう班が出てきたように感じた。話を深めている様子を全体で取り上げて良かったと思う。
- グループによって話し合いのレベルが違っていた。また、付箋を使うと、渡すだけになり説明がないと分からないこともある。大事なところなので、どのように話し合いを進めていくか、深めていくかを具体的に示しておくことが必要である。
- 付箋を使わずに話し合いをするだけでもよいのではないか。話し合いの記録にロイロノートを使ってみてはどうか。
→共有ノートでアドバイスを書くことも考えたが付箋はすぐに渡すことができ、後から意見を振り返ることもできるので使用した。実際に行ってみて、振り返りに記入させたり、ワークシートに自分でメモさせたりすることもできると感じた。
- ロイロノートのデジタルポートフォリオは、どのように使っているのか。評価としても使っているか。
→制作の過程を生徒と教師、生徒と生徒同士も共有して、評価にも使っている。また、単元のはじめにすべてのシートを送り、全体の見通しを持たせている。毎時間の記録を写真などで残している。

4 意見

- 班員の具体的なアドバイスが役に立っていた。しかし、意見を受け入れるかどうかは自分自身であり、アドバイスをそのまま使うことが良いというわけではない。自分で考えて選択し、決めていくことが大事である。アドバイスを受けた上で、考えを変化させないようにするというのも思考の一つである。
- デジタルポートフォリオは、学習前後の変容を見られる点で、主体的な表現活動の促進に十分つながっていることと思う。作品制作の過程を確認しながら生徒がいろいろと考えることができる。制作過程を見られることを生徒が恥ずかしがるのがよくあるが、振り返りはとても大切。デジタルポートフォリオを使うことで、授業の中で蓄積され、いつでも見ることができるのは良い。
- 自画像とエージェンシーは他者の視点がポイントとなってくる。メタ認知や自己調整は、自分で自分が何をしているのかを理解することが大切である。人から見てどう自分が捉えられているのか、他者の視点を知った上で、変わらなくても自分はこうしたいというのは大事。枠は変わらなくても深まっているかもしれない。これらはだれかと関わっているからこそ、深まりが現れる。より強い意思決定となる。

- 生徒に自分の顔にもっと注目をしてほしいと感じた。「好きなもの」だけでなく、「自分の犬が好きなときの顔」、「自分が音楽をして喜びを感じているときの顔」は？自分ではわからない。自分の顔は他者からでないと見ることができない。自分の認識している自分と、他者から見た自分の認識のズレを把握してみると、人からこうみられているという理解につながる。付箋のアドバイスも他者の視点である。自分の顔についてコメントを求め、自分の思っている顔と照らし合わせてみる。自分の顔を描くのも腑に落ちてくる。そこが自己理解、他者理解につながる。客観的にも顔はよいモチーフになる。自画像は主観的である。顔、表情、造形、自分の顔のどんなところが好きか、どんなところが嫌いか、顔に注目させていくことが大事。
- ワークシートの生徒のテーマを見てみると、「あなた自身を表してください。」でよいと感じた。自分がからんだテーマである。自画像でメタ認知やエージェンシー。人とかかわりをきっかけとして、自分のことにつながる。人の視線を積極的に取り入れてみてはどうか。そうすることでエージェンシーに深まりを得られるのではないかな。